

題材 「 1億までの数 」 ○○時間中の第3時

(1) 学習のねらい

1万までの数に親しむ活動をし、1万よりも大きな数に触れたいと願う子どもたちが、位取り表に出合い、大きな数を読み書きする活動を通して、位の数え方に気づき、1万よりも大きな数を読んだり、算用数字で書き表したりすることができる。

(2) 本時の学習材

位取り表

- 前時、1万までの数に親しむ活動をし、1万よりも大きな数に触れたいと願う子どもたちは、「1万よりも大きな数にはどんなものがあるのか」考えるだろう。そして、「1万よりも大きな数はどのように数えたら良いのか」考え始めたところで、本学習材を提示する。
- 本学習材は、位取り表である。子どもたちはこの学習材に出合い、1万よりも大きな数の読み方・書き方に気づくだろう。Kさんは簡単に大きな数を読むことができ、位取り表に数字を書いてみることで、大きな数の読み方をどのようにして導き出したかということに、目を向け始めるだろう。このように、大きな数を読み書きする活動を通して、位の数え方に気づき、1万よりも大きな数を読んだり、算用数字で書き表したりすることができる。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 1万、10万、100万が10個集まるとどんな数になるか学習する。	・100万が10個で1000万。 ○1万よりも大きな数の位が分かった。 学習問題 1万よりも大きな数は、どんな風に読み書きするのかな。 学習課題 1万よりも大きな数を読み書きしてみよう。	10'	○1万、10万、100万が10個集まるとどんな数になるか。 ・黒板に位を書いていく。 学習材 位取り表
展開	2 1万よりも大きな数を読み書きしてみる。	・位取り表に当てはめて数えてみよう。 ・「一、十、百、…」っていう感じで、いつも数を数えてる。 ○「一、十、百、…」って数えていくより、千までの位と万の位で、4つずつに区切って考えた方が分かりやすい。	30'	○日本で育てられていたヤギの数 669200頭。この読み方と、どんな風にして読んだのか、問いかける。 ○ワークシートの問題をやってみるよう伝える（読む問題はペアで確認してから、全体で確認する）。 ・分からない場合には、ペアで相談し合ったり、1が10個で10まで戻って考えてみることを教示したりする。
終末	3 本時の追求を振り返り、ワークシートに振り返りを書く。	・1万も10個集めると10万になるということが分かった。 ・大きな数を、位取り表を使って読むことができた。 ○位取り表を使って、もっと大きな数を読んでみたい。 ○1000万を集めると、別の位の数になるのか調べてみたい。	5'	○本時の学習を通して感じたことをワークシートに記述させる。 評価 1万よりも大きな数を読んだり、算用数字で書き表したりすることができたか、発言やワークシートから捉える。